

『東京剣連だより』（第 81 号）に新宿剣連の活動報告を掲載しました。

このたび東京都剣道連盟が発行する『東京剣連だより』第 81 号（平成 28 年 7 月 1 日発行）の「支部活動報告」欄に新宿区剣道連盟の活動報告が掲載されました。

内容は新宿剣連 HP トップの「一人ひとりが道を求め」と「会長挨拶」をミックスしたのですが、改めて皆様方に紹介させていただきます。

経験・年齢・性別・国籍を問わず

新宿区剣道連盟 会長 真砂 威

古くは江戸四宿の一つとして栄えた内藤新宿、今も交通要衝の地として大勢の人々を迎え入れている新宿区は、オフィス街と住宅地、歴史遺産の保存と再開発の促進、

そして多国籍の街という多彩な性格をもって発展してきました。

新宿区剣道連盟は、新宿の歴史と未来を貫く二つの軸、「多様性」と「集中性」に根ざし、「交剣知愛」を旗印に交流の輪を広げることがを目標としています。

本連盟では、ひとりでも多くの方々を剣道にいざなう運動を展開しております。

新宿区内に居住・滞在する人はもちろん、区内に仕事を持つ人、また新宿を日々通り道としている人たちを、段位等の有無・経験・年齢・性別・国籍を問わず広く受け入れています。

本連盟は、基本理念として「一人ひとりが道を求める」をメインテーマに次の三本柱を掲げています。

- 一 利を追わず理に従う
- 一 ぶれない体軸と太刀筋
- 一 ひるまない身体と心

「利を追わず理に従う」は、目先の利ではなく理に適った立合でもって日頃の稽古に励むこと。

「ぶれない体軸と太刀筋」は、頭のとっぺんから体の芯を通して地球の中心に向かって貫く体軸を確立させ、それと太刀筋とを一致させること。

「ひるまない身体と心」は、竹刀を構え相対峙しての攻防にあたっては、色々な気持ちが交錯しますが、気がくじけたりおじけつかないように心身を鍛錬すること。

この三本柱は、「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」とした全日本剣道連

盟の『剣道の理念』を大前提とするもので、床（ゆか）場における剣道上達論として掲げました。

稽古の本拠地は「新宿スポーツセンター」の第二武道場ですが、われわれが長年親しんできましたこの道場も、年の経過とともに床の損傷がはげしく、使用に危険が伴う状況下がありました。

このたび、同スポーツセンターの改修工事（平成 27 年 11 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）を時機に床の全面張り替え工事をしていただくことができました。

掲載の写真は、本年 4 月 2 日（土）新宿スポーツセンター第二武道場の道場開きのものです。↓

<http://shinjukukendo.com/20160521-chuo-shinjuku-godoikeikokaizentaishashin.jpg>